

浦賀は当時、相当賑わっていたと思いますが。 なぜ浦賀から横須賀に移るのか？

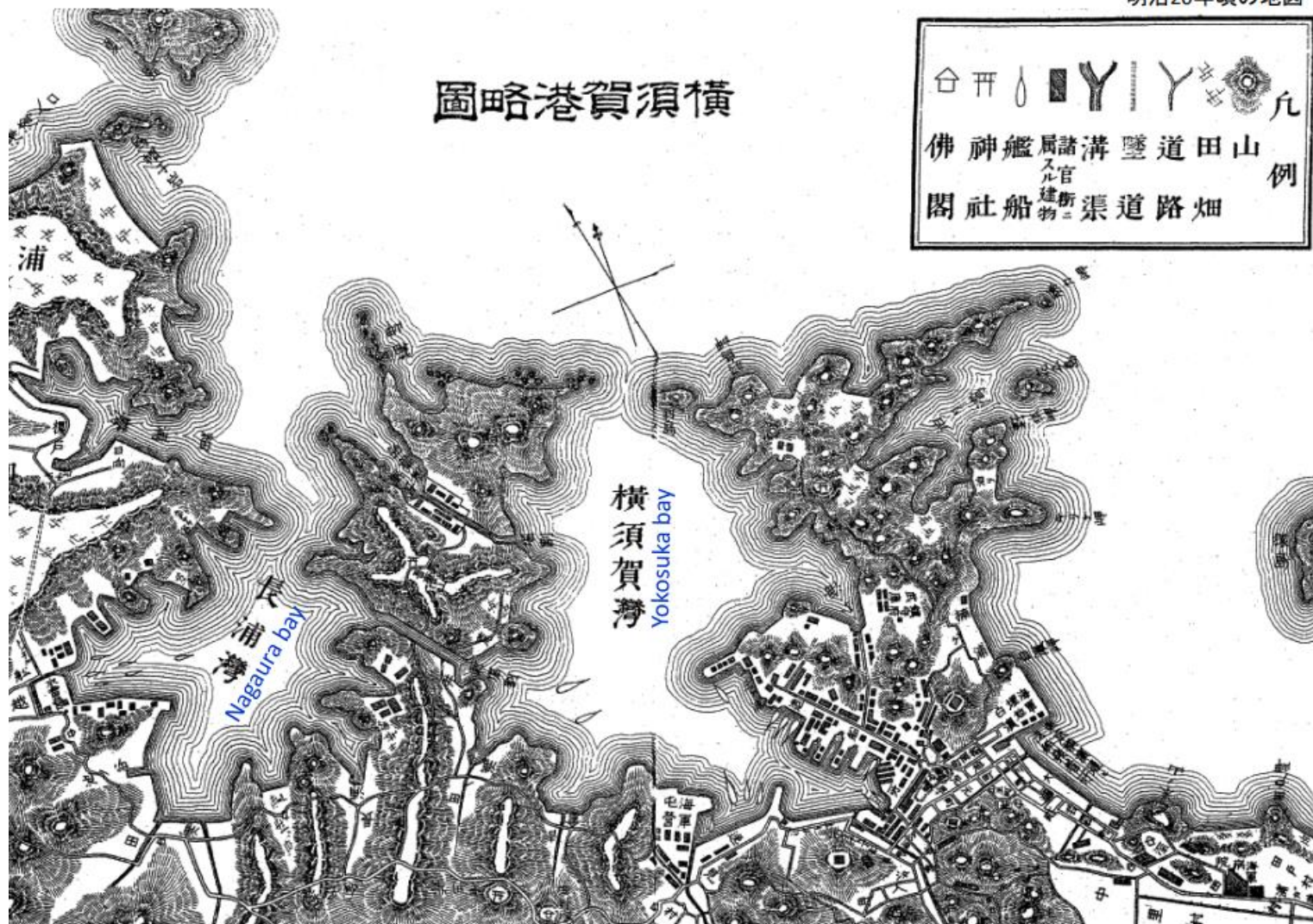
浦賀には、江戸へ海上輸送される荷役をチェックする、関所の様なものもあったので、相当にぎわっていたと思いますよ。

本格的な造船所は、浦賀では手狭だということで、色々候補はあったようだけど、最終的に現在の横須賀港に建設の白羽の矢が立ち、小栗上野介とフランス技師ベルニーニによって横須賀製鉄所の建設が始まります。

横須賀を見ると、山が海岸まで迫っているのが解ると思います。それだけ海が急に深くなっていて軍港に適していたのでしょう。

当初造船所候補地は長浦湾であったが、水深の関係から「横須賀湾」に変更される

明治20年頃の地図



横須賀海岸線の埋め立て増勢状況

江戸末期
1864年頃

明治16年
1882年頃

昭和25年
1950年頃

